

令和 4 年度幼稚園学校評価（出雲市立稗原幼稚園）

分 野	評価項目	評価の着眼点	自 己 評 価		学校関係者評価	評価結果を踏まえた今後の取り組み
			達成及び取組状況	評 価	評 価	
教育課程・指導	①学年・学級経営	教職員は、教育目標の達成を目指した学級経営を行っているか。	教育目標のもと、園児の実態に即し地域の特色（自然環境や伝統文化、コミュニティスクールによさ）を活かした教育活動を実践した。目指す幼児像に向かって、活動のねらいや経験させたい内容を職員全員で共通理解するとともに、保育構想を立て保護者にもわかりやすく伝えることを心がけた。反省・評価した内容を教育課程に生かすように努めた。	4	4	地域の特色を生かした保育を保護者や地域と連携を図りながら取り組んできたことに評価をいただいた。職員間で共通理解をし、個に応じた取り組み、保育実践について評価いただいた。今後も稗原コミュニティスクールとして、稗原の強みを生かし、教育目標に向け、反省評価したことを指導計画に反映し、改善を図りながら保育を進めていきたい。
	②幼児理解	教職員は、一人一人の幼児の発達の姿から課題を捉えて保育を行っているか。	3学年混合学級のため、発達段階や個人差のある子ども達を1クラスで保育するという難しさがある。全職員で幼児の実態を多角的に把握するとともに、具体的な幼児の姿や成長・課題については学期ごとに反省評価しながら、次の学期の支援や指導に生かすよう努めた。子ども達一人一人を丁寧にみつめ、思いに寄り添う姿勢を基本におき、日々話し合いながら保育を進めた。	4	4	3学年混合保育で様々な発達段階の子ども達を一人一人実態把握に努め、全職員で共通理解しながら保育を行っていることへの評価をいただいた。一人一人の子どもに寄り添いながら目指す幼児像に向けて、子ども達に必要な経験を考え、工夫しながら教育・指導を今後も行っていきたい。
	③特別支援教育	特別な支援を必要とする幼児の実態や課題を明確にし、計画的・組織的に指導を行っているか。	幼児の実態や課題を把握し、具体的な目標をもち、保育計画に個々の支援を明確にあげ、補助教諭と共通理解を図りながら保育することを心がけた。常に職員間での情報交換に努め、実態に沿って個別な配慮をしていくことができるよう、話し合いや打ち合わせを密に重ねた。家庭や関係機関と連携し包括的な支援を行った。	4	4	稗原でだからできる教育で子ども達一人一人を支援しているという評価をいただいた。今後も職員間で情報共有し、指導方法を共通理解しながら今後も進めたい。また家庭や関係機関との連携し、一人一人の思いや気持ちに寄り添う支援に今後も努めていきたい。
	④人権・同和教育	教職員は、自らの人権感覚を磨き、幼児に人権意識の芽生えを培うように配慮しているか。	人権・同和教育の視点を根底にもち、幼児の姿を丁寧にみつめ教育活動を行うよう心がけた。幼児一人一人が自分の思いを表すことができるような雰囲気作りを大切にした。表出が難しい幼児においては、表情やしぐさ、態度等から気持ちを探り、関わっていった。また相手の気持ちに気付くことができるよう語りかけたり場面を捉えて伝えたりした。今後も園生活で人権意識が培われるよう、同和教育に視点をおいた職員会を設け、人権意識を磨いていきたい。	3	3	幼児期に人権意識の芽生えを培うことの重要性についてご意見をいただいた。今後も一人一人の気持ちを受け止め、子ども達が安心して園生活を送り、互いに尊重し合い、友達を思いやることができるよう支えていきたい。そして、幼児教育が人権同和教育を基底にしていることから、人権意識の芽生えを大切にするとともに職員の人権感覚も磨いていきたい。
	⑤行事	教職員は、行事を幼児の発達を促す機会と捉え、工夫、改善しているか。	今年度も新型コロナウイルス感染症対策を心がけ、行事のもち方を工夫しながら計画した。行事ごとにねらいをもち、幼児の成長を促す内容になるよう取り組んだ。園児の興味関心を揺さぶる内容、また発達にふさわしい内容や活動となるよう計画立案し、教材研究に努め、実施後は反省評価を実施し、次の活動につながるようにした。今年度も地域資源を活用したり、地域の方々のご協力を得たりし、貴重な体験ができ、子ども達の豊かな経験や成長につながった。	4	4	コロナ禍での活動について配慮や工夫がされていた、子ども達一人一人が主役となり参加できる工夫や地域の伝統文化にもふれ取り入れた活動がされているといった評価をいただいた。また、園環境についても、子どもの活動を意識したものにされていると評価いただいた。今後も行事や活動のねらいを明確にし、その過程を大切にしながら、子ども達の成長につながる体験ができるよう、内容等工夫していきたい。
	⑥保幼小連携	近隣の小学校等との連携を密にし、なめらかな接続に努めているか。	コミュニティスクールの利点を活かし、日頃から密な連携を図ることができた。5年生との田んぼの活動や1年生との交流活動、1、2年生との畑の活動等、年間を通じての様々な活動ができ、親しみや憧れの気持ちを抱くことができた。交流活動を機に昼休み・放課後などに自然な交流の姿も見られ、名前を呼び合い遊ぶ姿も見られた。2学期には幼小情報交換会を計画し、保育を公開し話し合う機会を設けることができ、貴重な情報交換の場となった。	4	4	コミュニティスクールの利点を活かし、小学生との交流活動、連携が子ども達の成長につながっていると評価をいただいた。小学生と声をかけ合い、会話する姿など自然な関わりが生まれていること、小規模園の特性を生かした顔の見える活動ができているという評価もいただいた。今後も互いに情報交換や連携を密にし、なめらかな接続に努めたい。
家庭・地域との連携	⑦家庭・地域との連携	幼稚園と保護者、幼稚園と地域（未就園児等）との協力関係はできているか。	クラスだよりやお知らせボードなどを活用し、保育や行事の様子、子ども達の育ちをタイムリーに伝えることを心がけた。また保育公開では、普段の様子を見るだけでなく、成長の様子がわかるような内容を工夫した。未就園児の教室はコミュニティセンターと連携を図りながら活動を工夫し行うことができた。タイムリーな情報提供や園の活動の様子や園児の成長の姿等、地域や保護者にわかりやすく発信する工夫をしていきたい。	4	4	保育や行事の様子や子ども達の育ちについて、保護者と育ちを共通理解していることを評価をいただいた。たよりから園の様子が分かることへも評価をいただいた。今後も対策をとり内容を工夫しながら、地域の子育て教室と連携し、未就園児教室や園児とふれあう活動、高齢者の方との交流活動など行い、様々な方とのふれあいの機会を大切にしていきたい。
研修	⑧研究・研修	教職員一人一人が、園内外の研究・研修の機会を自己研鑽の場として受け止め、進んで研究・研修に取り組んでいるか。	「心と体を弾ませ、主体的に遊ぶ幼児の育成～遊びの過程を支えるための環境の構成と教師の援助～」という研究主題のもとに取り組んだ。日頃の情報交換だけでなく、「子どもを語る会」を行い、幼児が経験している内容や教師の支援のあり方をまとめ保育の構想に生かしたり、主題に沿った話し合いから幼児の成長を話し合ったりし共通理解に努めた。また外部講師を招いた園内研修を実施し、指導助言を保育に生かす等、自己研鑽に努めた。	3	4	研究主題に基づき園内研修を実施したり、研修会に参加したりし、保育活動に生かし、自己研鑽に努めていることに評価をいただいた。今後も職員同士が高め合える園内研修に努め、子ども達の成長を支える保育を工夫していきたい。
組織運営	⑨園務	教職員は、他教職員と協働し、計画的に園務を遂行しているか。	職員で事務分掌や行事担当を決め、声をかけ合いながら見通しをもった遂行に努めた。早めの計画立案に努め、役割分担しながら一人の負担が大きくなりやすいよう、計画的に進めることを心がけた。その都度反省評価を行い、精選していくようにした。働き方改革の一環として仕事の効率性を高めていく方法を工夫していきたい。	3	4	少ない職員で役割分担しながら負担が大きくなりやすいよう努めていることに評価をいただいた。今後も見通しをもって計画的に遂行するとともに、保護者や地域の協力を得ながら保育活動を進めていきたい。
安全管理・保健管理	⑩危機管理	園の危機管理及び幼児の安全や衛生の管理体制を全教職員が理解し、適切な対応に努めているか。	コミュニティスクールとして避難訓練を実施し、緊急時の避難やとるべき行動について共通理解を図ることができた。今年度は、長期休業期間中に、預かり保育時の避難訓練を計画し実施した。幼稚園の限られた職員での安全な避難誘導について、反省点がみえ、職員間で共有する共に、今後も様々な想定で、適切な対応をどうしていくか、共通理解を図っていきたい。	3	3	職員でリスクの洗い出しを行いさらなる安全対策に努めてほしいというご意見をいただいた。預かり保育時に避難訓練を行ったことについて評価いただくとともに、今後も様々な状況で訓練する必要があるといったご意見をいただいた。今後もコミュニティスクールで連携を図りながら、緊急時の対応を職員間で確認し、一層の安全対策に努めていきたい。
教育環境整備	⑪園地・園舎・遊具等の施設・整備	園地・園舎・遊具等の施設・設備を定期的に点検し、必要な改善・管理を行っているか。	毎月安全点検を行い、必要に応じて修理、修繕、市への要望を行ってきた。日頃からの点検によって、早期の修繕につなげることができた。また園庭の遊具（ロープ）についても交換できた。今後も定期的な安全点検で早期の対処に努めていきたい。	3	3	安全点検を実施し事故等ないよう、早めの対応に努めてほしい、小学校と連携を図りながら共同で安全活動を実施してはどうかというご意見をいただいた。避難訓練・防犯活動等合同で行っているが、安全活動全般を連携しながら取り組みたい。施設や遊具などの点検・整備を定期的に行い、気になる箇所は早急に対応するなど、今後も子ども達が安心して生活できる環境になるよう努め、要望していきたい。

※評価基準 4：十分達成している 3：概ね達成している 2：改善を要する部分がある 1：大いに改善を要する